



親子むしむし探検隊 ～角島浜辺の昆虫観察会～

8月3日(日)やまぐち昆虫楽会長の角田正明さんを講師に、「親子むしむし探検隊～角島浜辺の昆虫観察会～」を実施しました。最初の講義では、講師から「橋ができて人が入ってくるといろいろな生物も入ってくる。」と話されました。次に、自然館建物周辺の観察から始まりました。先程のいろいろな人が島内に入り込むことにより、車などにくっついてきたのではないかということが実証されました。砂浜に出ると、山口県レッドリスト 2018 準絶滅危惧のヤマトマダラバッタがいました。このバッタが生息している海岸は、自然度が豊かな証拠



採取した昆虫の解説の様子

だそうです。約1時間の観察が終わり、自然館に戻り、クワガタのオスとメスのプレゼントがあり、持参した飼育ケースに仕切りを作って、持ち帰る準備をしました。

夏休みは自然館の観察会へ 親子でGO!!

きれいな貝を見つけ隊

～角島微小貝探し観察会～

8月16日(土)豊北町自然観察指導員会の杉村智幸さんを講師に、「きれいな貝を見つけ隊～角島微小貝観察会～」を実施しました。

講義では、専門的な分類階級や見過ごされやすいものにクローズアップして、こういう視点でも自然が楽しめることなどを学びました。あいにくの天気で、外での採取はできませんでしたが、事前に採取していた砂を使って3段階に篩にかけ、微小貝探しをしました。

参加者の感想に、「普段、砂の一部だと見過ごしていた貝が、こんなにたくさんたくさん種類があったことにおどろきました。奥深い世界を見せていただきました。」とありました。貝にいろいろな採取の仕方があることを学びました。



採取した砂を篩で分ける様子

～化石・地層の観察会～

8月9日(土)福富孝義さんを講師に、「大地の成り立ちを学ぼう!～化石・地層観察会～」を鍋島(神田)で実施しました。

旧神田小学校体育館に集合し、早速鍋島へ向かいました。朝から少し時化した状況で、なかなか潮が引かない状況の中、鍋島に渡って化石の採取をしました。子どもたちは、濡れながらも一生懸命石を砕いては化石を探す姿に

参加者の感想に、「普段体験できないことができてよかったです。ありがとうございました。教科書から学ぶだけでなく実際の体験ができてよかった。」とありました。採取した化石を自然館へ持ち帰って種の同定を行いました。今回は、子どもたちが狙っていたサメの歯の化石は見つからず、ほとんどが二枚貝でしたが、親子で楽しみながら貴重な体験となりました。



化石を採取する様子



星を見る会夏@つのしま自然館 ～夏の星座観察会～

8月22日(金)武繁鉄之さんを講師に、「星を見る会夏@夏の星座観察会」を実施しました。はじめに、「春・夏の星と星座」と題し、季節による星座のちがいを楽しむことや天体望遠鏡や星座早見盤を使って星団、星雲を見つける楽しさについて学びました。辺りがすっかり暗くなり、外で天体望遠鏡や双眼鏡を使って、夏の大三角や北斗七星などを見つけました。



夏の星座について学ぶ様子

参加者の感想に、「星のことを聞いて、とてもおもしろい感じでした。何百年前の光と何年前の光と今の自分が一緒にいる。とてもすてきな話になりました。」とありました。冬(1月)にも実施する予定です。



わくわく科楽教室

虫から飛行機まで空の飛び方伝えます



8月30日(土)つのしま自然館レクチャールームで、館長の広瀬が講師として、下関市教育委員会生涯学習課主催の「わくわく科楽教室」が、行われました。「虫から飛行機まで空の飛び方伝えます」と題し、参加者は、



飛ぶ仕組みを学ぶ様子

ぶ生き物や人間が空を飛ぶまでの歴史や空を飛ぶ仕組みを学びました。グライダーの操縦の仕方を学んだ後、うちわを使ったグライダーを作って飛ばしました。